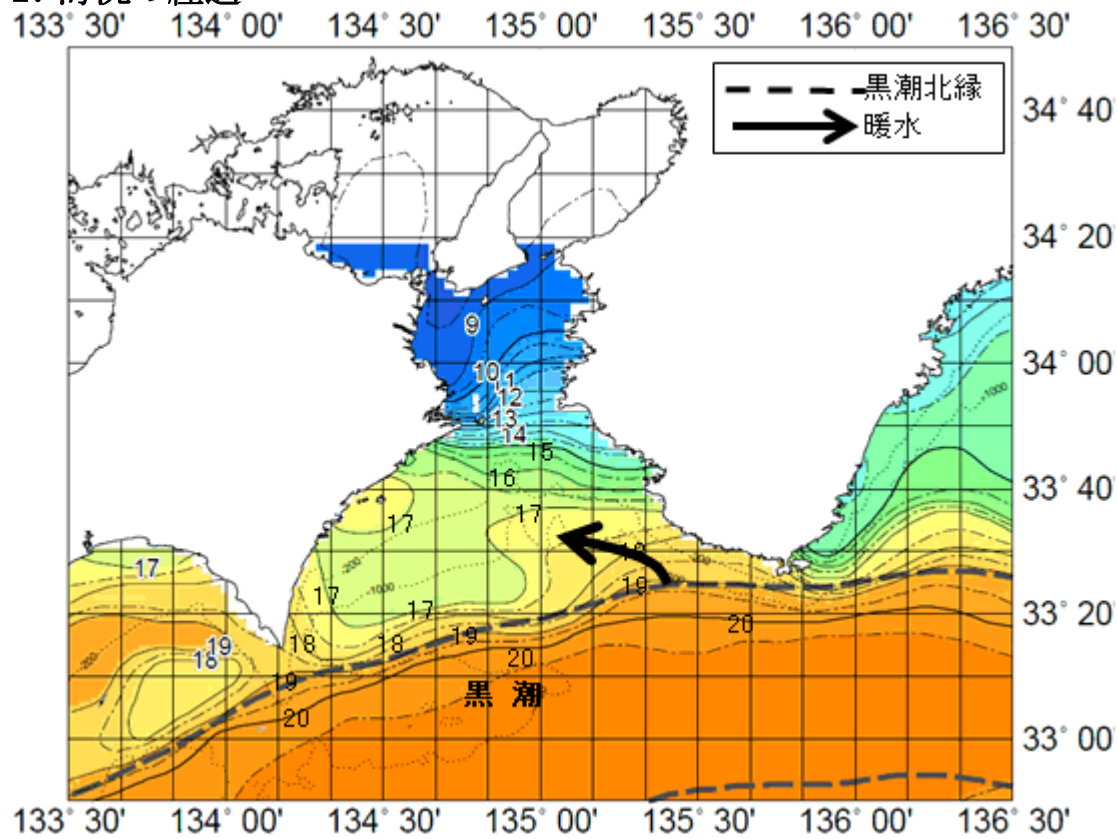


1. 海況の経過

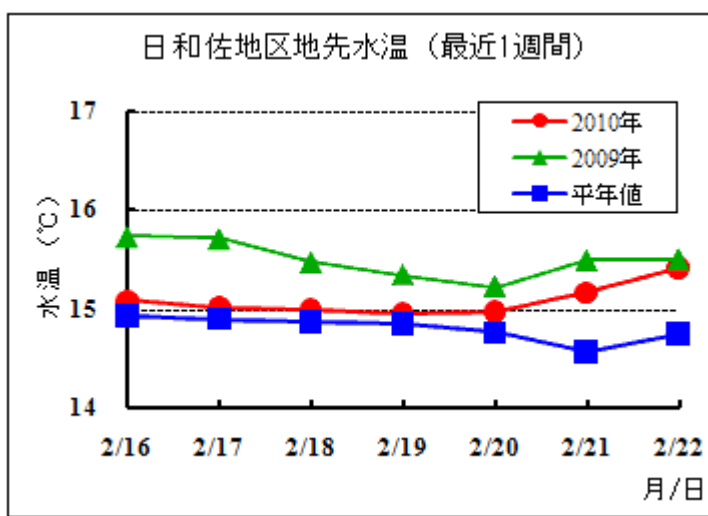
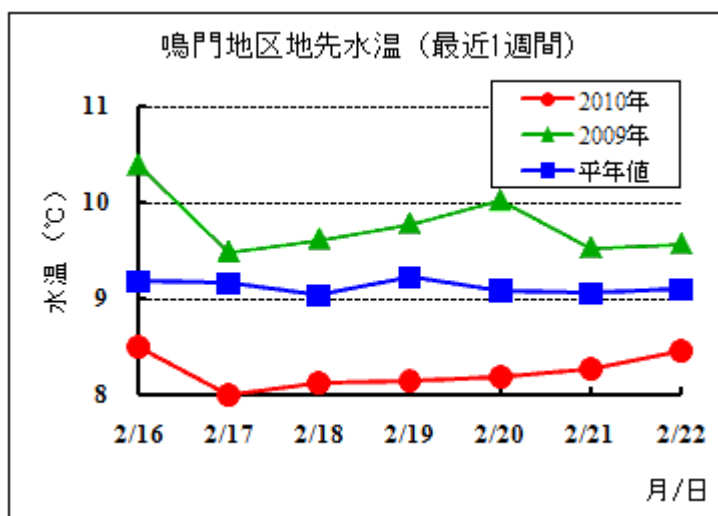


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H22.2.22)を示した。黒潮は、室戸岬沖と潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖、足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は、18～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が8℃台、紀伊水道が8～13℃台、海部沿岸が12～16℃台である。室戸岬沖では先週と同じく冷水塊が西側から接近している。紀伊水道外域では、潮岬沖西側から外域中央部に向けゆるやかに暖水が流入している。紀伊水道入り口付近(蒲生田岬～日ノ御埼)には内海系水と黒潮系水の潮境がある。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」の8.0～8.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.0～15.4℃、牟岐地区は「平年並み」～「かなり高め」の14.2～17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、特大主体にゴマサバが0.5トン(1日1隻当たり84kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.9トン(同41kg)、キビナゴが0.3トン(同68kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが0.3トン(同27kg)、大主体にスルメイカが1.5トン(同190kg)、ブリが0.3トン(同42kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが1.0トン(同8kg)、大・小主体にゴマサバが3.4トン(同75kg)、特大主体にマサバが0.8トン(同19kg)、メジロが0.7トン(同7kg)水揚げされた。

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	6	505	84	特大主体
小型定置網		アオリイカ	21	851	41	
		キビナゴ	5	342	68	
大型定置網		アオリイカ	12	320	27	大・中主体
		スルメイカ	8	1,519	190	大主体
		ブリ	8	332	42	
釣り		アオリイカ	133	1,007	8	大主体
		ゴマサバ	45	3,371	75	大・小主体
		マサバ	44	846	19	特大主体
		メジロ	106	749	7	

特異事項:

海部沿岸で傘径 5cm 程度のアカクラゲが小型定置網に入っている。播磨灘・紀伊水道で傘径 5cm 程度のミズクラゲの発生が確認された。

週間予報:

黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の 8℃ 台後半、日和佐地先は「やや高め」の 15℃ 台で推移する見込み。

他県情報(和歌山県):

ひき縄で、カツオ 23.9トン(1日1隻当たり 43kg)、キハダ 1.9トン(3kg)、ビンナガ 21.3トン(同 38kg)、釣りで、メジロ 0.2トン(同 5kg)、イサキ 0.5トン(同 12kg)、パッチ網で、シラス 9.5トン(同 169kg)、イカナゴ 1.8トン(同 33kg)水揚げされた。

***水温偏差の目安**

平年並み:±0.49 以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50 以上